

11月市議会

党議員団全員が質問します
ぜひ傍聴におでかけください

質問内容



杉本 まもる 議員

11月30日(金) 午後2時頃から

●避難対策について

要援護者の避難行動について

近年は自然災害が多発しています。7月28日、台風12号の接近で高齢者などに避難勧告が出されました。そのとき、災害時要援護者に登録してある後期高齢者で、車いすでないと移動できない重度の障害を持つ方が、市の広報に従い避難しようと行動を起こしました。ところが、避難支援者や避難場所の受け入れ体制、移動手段など様々な問題が生じ迅速な避難ができませんでした。この出来事をもとに、市の避難対策について質します。



望月 賢一郎 議員

12月3日(月) 午後1時30分頃から

●駿河湾フェリーについて

存続が決まった駿河湾フェリーの発着場を、現在の日の出埠頭からJR清水駅東側の江尻埠頭への移設する展望について質問します。

●生涯学習施設について

生涯学習施設について、清水区の利用者に有料化を押し付けることが清水の「まちづくり」にどのような影響を及ぼすか、有料化反対の立場で質問します。

日本共産党 静岡市議会議員団ニュース

2018-No.10

日本共産党静岡市議会議員団

電話：054-254-2111 (内線4541)

FAX：054-272-4695

メール：yksf5@jcpss.jp



本会議、常任委員会のすべてが傍聴できます。

質問内容



鈴木 せつ子 議員

12月4日(火) 午前10時30分頃から

●国民健康保険について

国保会計は、黒字23億円、基金に61億円、合計84億円もの活用できる財源を示し、国保料引き下げを迫ります。また、国からの交付金を活用し、国保料の減免制度拡充で負担軽減を提案します。

●市民文化会館再整備について

市民文化会館の再整備について、①アリーナとホールを備えた案は、限りあるスペースで、避難路、終演時のスムーズな人の流れ等安全対策は万全か、②ホールは、舞台袖の十分なスペース・諸室確保など使いやすい施設整備が大前提であるかを確認します。



寺尾 昭 議員

12月4日(火) 午前11時頃から

●大規模災害対策に対応する静岡市の防災力について

大地震、集中豪雨、台風と相次いでいる日本列島。今私たちもその危険に直面しています。大規模災害に対する静岡市の防災力はどこまで進んでいるか。市民の安全確保策を多角的に検証します。



内田 りゅうすけ 議員

12月4日(火) 午後1時30分頃から

●市長の政治姿勢について

- ① 清水庁舎移転計画について経済優先でなく人命優先するよう求めます。
- ② 清水生涯学習交流館問題では、使用料負担は合併公約違反であり、しないよう求めます。
- ③ 清水庁舎移転計画・桜ヶ丘病院の建設計画など市民生活に大きく影響する事業については、静岡市自治基本条例に基づき対応するよう求めます。
(自治基本条例・市民参画の推進に関する条例9条では、市民生活に重大な影響を与えるという事業については市の執行機関だけで決めるのではなく、市民の意見を反映するよううたっている)

※開始時間は目安ですのでお早めにおいでください

常任委員会 日程

12月5日(水)

12月6日(木)

開会 午前10時

総務委員会、企業消防委員会、市民環境教育委員会

厚生委員会、観光交流経済委員会、都市建設委員会